

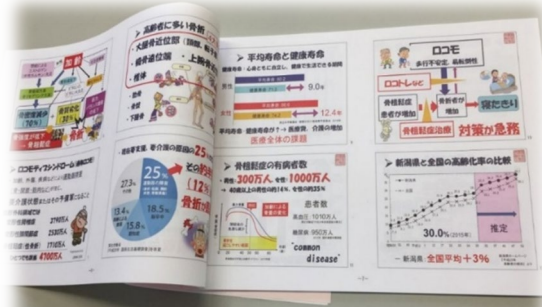
テーマ	医療者向け研修プログラム		
執筆者の 所属と職種 および氏名	新潟リハビリテーション病院 整形外科 医師 山本智章	執筆年月 日	2026 年 3 月 20 日

＜ポイント＞			
OLS をサポートする地域での研修プログラム：新潟県骨粗鬆症サポーター制度の意義と実際			
日本では高齢化の進行に伴い、骨粗鬆症患者が増加している。大腿骨近位部骨折、椎体骨折、骨盤骨折は、要介護化や死亡率の上昇につながる重大な問題である。しかし、骨粗鬆症は自覚症状に乏しく、高齢期に至るまで骨密度検査が未実施である場合や、骨折後も治療の開始・継続が不十分なケースが多いのが現状である。また、整形外科医のみで患者管理を担うことには限界があり、多職種連携の重要性が高まっている。 こうした背景のもと、日本骨粗鬆症学会は海外の骨折リエゾンサービスの概念を導入し、予防および治療継続支援を担う専門職として「骨粗鬆症マネージャー制度」を創設した。マネージャーには、予防・啓発、診療支援、治療継続支援など多面的な役割が求められるが、認定には学会入会や研修受講、試験などの条件があり、さらに施設の理解や経済的支援も必要である。そのため、特に地方の医療・介護現場においては取得のハードルが高いとされている。このような課題を踏まえ、より多くのスタッフが骨粗鬆症に関する知識とケア技術を学べる教育機会の整備・創出が求められている。さらに、2022 年の診療報酬改定では「二次性骨折予防継続管理料」が新設され、施設基準として年 1 回の研修会実施が要件化された。 こうしたニーズに応える取り組みの一つとして、新潟県で実施されている「骨粗鬆症サポーター研修会」が挙げられる。本研修会は 2015 年に新潟大学整形外科学教室を中心に開始され、県内の医療・介護従事者や行政関係者など、幅広い職種を対象に毎年開催されている。医師、歯科医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション職に加え、介護スタッフやケースワーカーも参加可能であり、受講料が無料である点も特徴である。主催は新潟県骨粗鬆症骨折対策事業連絡協議会であり、大学と地域医療機関が連携して運営している。研修は会場参加とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド形式で実施され、施設を越えた交流や情報共有の場としても機能している。 内容は、骨粗鬆症の基礎から診断、治療、予防まで幅広く構成されている。総論では、病態や疫学、高齢化に伴う骨折の現状、骨折が生活機能や QOL に与える影響を学び、疾患の重要性を理解する。診断分野では、骨密度検査や続発性骨粗鬆症の評価、リスク評価ツールの活用について学び、早期発見と適切な治療計画につなげる知識を習得する。薬物療法では、骨吸収抑制薬と骨形成促進薬の違いや副作用、服薬指導のポイントを理解し、実践的な対応力を養う。さらに、転倒予防やフレイル対策としての運動療法、カルシウムやビタミン D 摂取を含む栄養療法、女性ホルモンと骨代謝の関係など、生活面からのアプローチも重視されている。また、二次骨折予防の重要性とリエゾンサービスの実際について学ぶことで、退院後を含めた継続支援や多職種連携の在り方を理解する。これにより参加者は、骨粗鬆症を単なる骨の疾患ではなく、生活全体に影響する慢性疾患として捉え、地域における包括的支援へとつなげる視点を身につけることができる。 このように、骨粗鬆症サポーター研修会は、専門資格の有無にかかわらず多職種が学べる貴重な教育機会であり、地域全体で骨粗鬆症対策を推進する基盤形成に寄与している。今後はこうした取り組みを各地域に展開し、より多くの医療・介護従事者が知識と実践力を高めることで、骨折予防および患者の生活の質向上につながることを期待される。 また、骨粗鬆症リエゾンサービス（OLS）と連動した地域介入モデルの理解も重要である。骨粗鬆症マネージャーは主に医療機関において患者啓発や予防・治療の実践、骨折患者の治療継続支援や再骨折予防を担う。一方、骨粗鬆症サポーターは医療機関にとどまらず、地域におけるフォローや生活支援を担う存在である。両者の連携により、病院完結型ではなく地域完結型の骨折予防体制が構築されている点が、新潟県の特徴である。さらに、この取り組みは多職種連携を通じて医療・介護・行政が一体となる地域包括ケアの実践モデルとしても位置付けられる。これにより、新潟県ではサポーターが地域で骨折予防活動を展開し、住民への健康啓発や運動指導を実施することで、骨折発生率の低下や健康寿命の延伸への貢献が期待されている。 教育、医療連携、地域実装を一体化した本モデルは、日本における骨粗鬆症予防の先進事例であり、他地域への応用可能性も高い。これまでに 15 回の研修会が実施され、約 1,800 名の骨粗鬆症サポーターが認定されている。第 16 回研修会は、2026 年 5 月 31 日に開催予定である。			

WEB参加：ZOOM ウェビナー

【科聯】新加坡骨節科醫學會對馬事發展建議書 / 潘成斌譯(一)可參

【康復】(一社)新加坡醫師會 (公社)新加坡藥士會 (公社)新加坡牙醫士會 (公社)新加坡物理療法士會 (公社)新加坡介護治療士會
(公社)新加坡營養師會 (公社)新加坡護理協會 (公社)新加坡老人保健服務協會 (一社)新加坡介護支援專門員協會
新加坡大專院校長者綜合研究社 健康壽命促進、運動與平衡中心講座 新加坡社區醫療外科協會



なし（必要に応じて記載）